

**60回の取材訪問から  
少し見えてきた・・・  
当市のボランティア図絵  
～VIC HPの解析～**



大阪狭山市市民活動支援センター

この記録解析は、VIC HP と連動していますが公式のものではありません。

<http://www.osakasayama-vc.jp>

# 取材から見えてくる……市内ボランティア活動図絵

平成22年度(2010年4月～2011年3月)	19回取材
平成23年度(2011年4月～2012年3月)	24回取材
平成24年度(2012年4月～2013年3月)	17回取材

大阪狭山市市民活動支援センター及びVIC(ボランティア・インフォメーション・コーナー)では、VIC受託の平成22年度(2010)から、この三年間、さまざまな市内ボランティア団体の活動状況を現場取材し、VICの「こんなボランティアが……」のホーム・ページ上で広く紹介してきました。

その団体紹介の回数も平成22年4月～今期平成25年3月までで、60回に達しましたので、ただ単なる個別の取材紹介に留めることなく、マクロの視点から数値的に大阪狭山市のボランティア像を解析することで、どの分野が活発で、どの分野に今後の力点をおき支援すべきか……などの未来指向の資料作成に、このデータを活用できたらと編纂したものです。

勿論、60回程度の取材内容では、市内ボランティア活動の全体像を公平に分析するデータとはいえません。今後もボランティア団体や、市内活動団体へのアプローチを継続することで、団体とセンター間の双方向ベクトルを作出し、その中から大阪狭山市で活動するボランティアの活動像がより鮮明に浮かび上がることを期待するものです。

取材を通じて共通して認識される大別点は、次の7項目です。

1. ボランティアに必要なのは、ツールとしてのスキ  
ル(ボランティア技術)が必須で、その為の各種  
継続的養成講座が必要。
2. ボランティアの高齢化が急進している現実。
3. 牽引力のあるボランティア・リーダーの養成
4. 多くの団体の悩みは、人集め。
5. ボランティアの有償化と無償の狭間。
6. 災害ボランティアの担い手が地域に少ないこと。
7. 養成したボランティアの市内定着率の貧困。

次表は、60回の取材一覧です。HP上では、各回のボランティアテーマをクリックすると、その紹介ページにリンクします。

この表のヘッド欄にある分野を、分野別(福祉、障害、子ども育成、ボランティア・スキル、施設慰問、ボランティア養成講座など)の記号を並び替えて、ボランティア像の現状を抽出ができるシステムになっています。

そのようなマクロのボランティア像から、いま大阪狭山市で求められるボランティアの協働分野はどこかを探ることができます。このリストの後段で、その幾つかの解析を試みます。

取材回	分野	催行月日	ボランティア活動のタイトル	ボランティア活動の内容	取材者
60		2013/3/28	春のジュニア・ボランティア養成講座	<a href="#">桃太郎と行こう♪ 鬼退治!! ここでもボランティアスキルが生き</a>	中村
59		2013/3/8	さやま元気っこ推進事業	<a href="#">市立南第三小でモデル実施の「さやま元気っこクラブ」</a>	氏川・野並
58		2013/1/23	大阪狭山市立西小学校の課外授業	<a href="#">昔遊びのボランティア</a>	氏川・佐藤
57		2013/1/13	年々進化するボランティア・スキル	<a href="#">新春こどもまつり</a>	野並
56		2012/11/17	市内南第二小学校で6回目の出前講座	<a href="#">学校支援ボランティア</a>	佐藤/氏川
55		2012/10/23	ボランティアには笑顔が一番	<a href="#">笑顔のボランティア講習会 この講座からも新しい団体の立ち</a>	中村
54		2012/8/26	公民館で展開された21の街のすぐれもの講座	<a href="#">街のすぐれもの紹介デー</a>	植山

53	2012/8/26	IT機器駆使の詩吟出前ボランティアの活躍	<a href="#">東池尻自治会館のふれあい喫茶を詩吟の会が出前演奏</a>	氏川
52	2012/8/22	ボランティアの芽を育む・・・玉手箱をあけよう・・・	<a href="#">夏のジュニア・ボランティア養成講座</a>	中村
51	2012/8/9	NHK出演者との出会いは全国ボランティア研修会で	<a href="#">夏のこどもMusic と Magicのワークショップ</a>	野並
50	2012/8/7	教育委員会から学校教諭も参加して	<a href="#">夏のボランティア養成講座・・・車いすの使い方の基礎</a>	中村
49	2012/8/5	ボランティア活動をU Streamで発信	<a href="#">夏のお話会・・・こどもも おとなも・・・</a>	中村
48	2012/7/27	本文化の伝承を・・・夏休みのこどもたちに	<a href="#">夏のこどもカルチャー市場</a>	氏川
47	2012/8/30	U Stream の画像と音声で練習課題曲が聴けます	<a href="#">大阪狭山混声合唱団の練習寸描</a>	氏川・野並
46	2012/8/8	次世代のボランティアリーダーを育む	<a href="#">ネイチャー・リーダー養成講座</a>	中村
45	2012/5/10	んだ・・・飛んで、西除川のヒメホテル	<a href="#">狭山ヒメホテルを守る会のホテル観測実施</a>	氏川
44	2012/5/5	若者パワーと老人力のボランティア・コラボレーション	<a href="#">こどもの日 Go Go ふれあいの里ワールド</a>	野並
43	2012/3/4	僕らは宇宙船号！	<a href="#">あった・・・こんなボランティアも</a>	野並・氏川
42	2012/2/19	次世代を担う子どもたちにボランティア技術を・・・	<a href="#">ジュニア・ボランティア・スクール</a>	野並・中村
41	2012/3/31	10年にも及ぶ舞台袖の活花ボランティア	<a href="#">講演舞台活花写真画廊</a>	野並
40	2012/2/4	落語で施設のおとしよりを慰問	<a href="#">さやま落語会</a>	中村・野並
39	2012/2/6	地域住民のNPOボランティアが支える	<a href="#">第3回 マグロまつり</a>	野並
38	2012/1/8	多くのボランティアが支えた	<a href="#">2012 新春こどもまつり</a>	野並
37	2011/11/10	学生のボランティア力	<a href="#">ホンダテクニカルカレッジ関西のV活動</a>	野並・氏川
36	2011/10/30	アイマスクや車椅子の使い方を世代間交流で	<a href="#">ふれあい広場の「ゆずり葉」</a>	中村
35	2011/10/7	わが国独特のおりがみ技術でボランティア	<a href="#">さやま おりがみ倶楽部</a>	中村
34	2011/10/6	オーダーメイドの障がい者自助具の開発	<a href="#">自助具の工房・さやま</a>	中村
33	2011/10/2	児童の目が輝く・・・図書館利用の本の朗読	<a href="#">さやまお話の会</a>	野並・中村
32	2011/9/27	立ち上がった・・・音楽療法Gの施設慰問	<a href="#">カンタービレ</a>	中村・野並
31	2011/9/17	進化するクラフトスキルが秀逸	<a href="#">ぼっぼえん親子教室</a>	野並
30	2011/9/14	ボランティアがボランティアを育てる	<a href="#">手話養成講座(さつき)</a>	氏川・中村
29	2011/9/10	集結のボランティア団体が支えた	<a href="#">2011 はばたきフェスタ</a>	植山・野並
28	2011/8/26	がんばれ・・・震災東北	<a href="#">夏休みに災害ボランティアバスで被災地支援を・・・</a>	野並
27	2011/8/22	先生も一緒・・・夏休みボランティア講座	<a href="#">車いすの使い方基礎講座</a>	中村
26	2011/8/7	子ども騎士集合	<a href="#">将棋の祭典 in SAYAKA</a>	中村
25	2011/8/21	ボランティアスキルが合っこそその世代間交流	<a href="#">親子工作教室</a>	佐藤
24	2011/8/6	ご覧ください・・・僕たちの活動	<a href="#">表現倶楽部 うどい がSAYAKA大ホールで共演</a>	氏川
23	2011/8/2	38名の児童が参加	<a href="#">夏休み 英語キャンプ</a>	野並・氏川
22	2011/7/29	30名の児童が参加	<a href="#">夏休みジュニア・ボランティアスクール</a>	野並・氏川
21	2011/6/10	全8回市役所のロビーで震災義援邦楽演奏会	<a href="#">邦楽コンサート実行委員会</a>	中西・野並
20	2011/5/5	今年も集まりました1500人のこどもや家族	<a href="#">Go Go ふれあいの里ワールド</a>	野並
19	2011/3/25	お届けできました・・・災害救援物資	<a href="#">役立ちました・・・大阪狭山アマチュア無線クラブ</a>	氏川
18	2011/2/26	市内のユニフォームあつまれ・・・	<a href="#">狭山池湖畔につつじの植樹を</a>	佐藤
17	2011/2/20	小学3年から中学3年生 あつまれ・・・	<a href="#">ボランティアジュニアスクール</a>	野並

16	2011/1/15	カフェサロンに集まれ！	<a href="#">南中円卓会議・サロンみらい</a>	浅野
15	2011/1/9	市内のこどもたち集まれ！！	<a href="#">新春こどもまつり2011</a>	野並
14	2010/12/16	ブルトップ交換の車椅子第10号は池尻地区自治会	<a href="#">VG連絡会ブルトップ部会</a>	野並
13	2010/11/24	映画をみて語る会	<a href="#">ワーカーズふるむさやま</a>	中村
12	2010/11/13	三津屋川美化・清掃事業	<a href="#">ホンダテクニカルカレッジ関西の学生38名が参加</a>	氏川
11	2010/10/10	僕たち地域の人達の関わりで大阪狭山がますます好	<a href="#">表現倶楽部「うどい」</a>	野並
10	2010/9/11	<a href="#">市内各種ボランティア大集合</a>	<a href="#">2010 はばたきフェスタ</a>	野並
9	2010/8/26	夏のジュニアボランティアスクール	<a href="#">折り紙をおって高齢者に贈ろう</a>	佐藤・野並
8	2010/8/25	コミュニケーション能力アップへ..	<a href="#">寺子屋カフェ</a>	野並
7	2010/8/22	青少年徳育が目的....	<a href="#">大阪狭山 将棋の祭典in SAYAKA</a>	伊勢田・野並
6	2010/8/19	世界でただ一つの紙芝居を創ってみよう..	<a href="#">紙芝居作成講座のボランティア</a>	氏川
5	2010/8/20	車椅子の研修とクラフトと喫茶のふれあいサロン	<a href="#">夏のジュニア・ボランティアスクール</a>	野並
4	2010/1/20	継続は力なり...これこそほんもののボランティア	<a href="#">ブルトップで車椅子を 市内全域に広がったブルトップ運動</a>	氏川・野並
3	2010/8/17	ボランティアがボランティアを支援	<a href="#">子ども見守り隊へ、夏用のベストを500着寄贈</a>	佐藤・野並
2	2010/5/12	天野街道遊歩道清掃グループ	<a href="#">陶器山遊歩道保全・清掃ボランティア</a>	野並
1	2010/5/5	集まれ...市内のこどもたち	<a href="#">こどもの日 Go Go ふれあいの里ワールド</a>	野並

Data入力・並び替え欄 ⇒ボランティア活動の分野、種類、将来像などの分類項目を入力。  
 ボランティア活動は、他の分野に重複するケースがあり、並び替えのデータ入力により  
 複数の分野像の解析が可能。

**A** 学童保育などの分野

- A-1 学童型総合
- A-2 学校園V活動
- A-3 Intentionally left blank

**B** ボランティア育成及び養成講座などの分野

- B-1 V-育成・養成面では...
- B-2 一般ボランティア講習
- B-3

**C** 高齢者施設慰問などの分野

- C-1 施設慰問
- C-2 Intentionally left blank
- C-3 Intentionally left blank

**D** ボランティア団体の盛衰省長

- D-1 担い手の高齢化で消えゆくボランティアも..
- D-2 Intentionally left blank
- D-3 Intentionally left blank

**E** コミュニティビジネス的ボランティア活動(有償・無償ボランティアの狭間)

- E-1 Social Businessとボランティア
- E-2 Intentionally left blank
- E-3 Intentionally left blank

**F** ボランティアの大別⇒福祉ボランティア・障がい者ボランティア・国際ボランティア・災害ボランティアなど

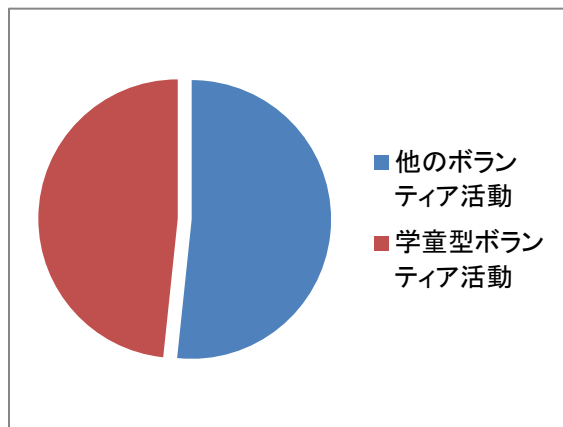
- F-1 取材を通じたボランティア団体の大別
- F-2 Intentionally left blank
- F-3 Intentionally left blank

## A 学童育成型ボランティア

### A-1

他のボランティア活動  
学童型ボランティア活動

こどもの日、新春こどもまつり、はばたきフェスタ、各種ボランティア養成講座、学校支援ボランティアなど全体の約半数の活動が、学童型ボランティアに集中しているのが特徴。活動解析の中に、登下校の見守り、放課後広場の見守りなどの実績が含まれていないため、市内全域の学童型ボランティアの実数像は更に大きく、引き続きこの方面の取材継続が必要。

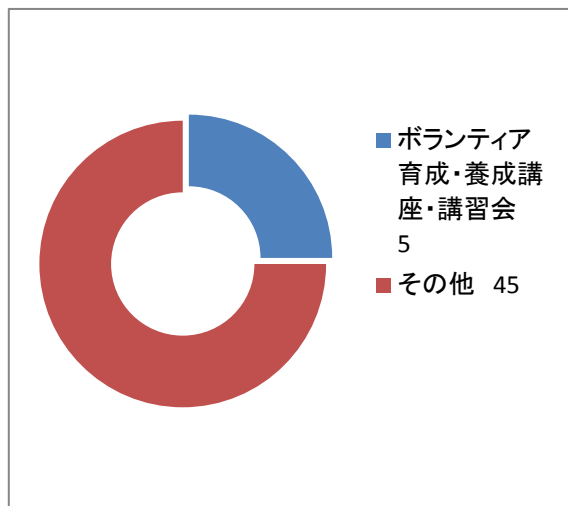


## B ボランティア養成・育成講座・講習会

### B-1

総合 60  
ボランティア育成・養成講座・講習会 5  
その他 45

将来を担う若年児童へのボランティア養成の視点は大切な要素。春・冬のジュニアボランティア養成スクールや、僕ら宇宙船号などの社会的視野を育成するボランティア講座はユニークな存在。したがって全体ボランティア像の25%弱ながらこの活動は大切なボランティア要素であろう。特にこの面に実践的に注力している社会福祉協議会傘下のVG連絡会は、無償の協働分野を構築するものとして、大きく評価されてよい。今後もV育成へのボランティア活動が望まれるところである。



### B-2 C-1

V育成講座と老人施設訪問

ボランティア活動が進化する一面を垣間見る例として、上記B-1で子どもたちに、折り紙、手話、朗読、紙芝居、クラフト作成のボランティアスキルを習得させ、老人施設の訪問で披露する実践型ボランティア育成活動も組み合わせられているのが特徴。60回の取材活動のなかで直近の2例だが、「浦島太郎と遊ぼう・・・」あるいは、「桃太郎と行く鬼退治」などのストーリー性を合わせたユニークな活動もある。さらに、C-1の категорияと合致するが、歌遊びや、指体操などの音楽療法を老人施設訪問で定期的に行っているボランティア活動も無視できない。今後のボランティア活動像としては、この分野はボランティアスキルを養成し、実践にそれを活かす継続性が望まれる活動分野と言えよう。ただ単にボランティアとは何ぞや・・・などの学問的講習はボランティアの現場では既に遠い存在であることへの警鐘である。

### B-2

その他のボランティアグループ立ち上げ講習など

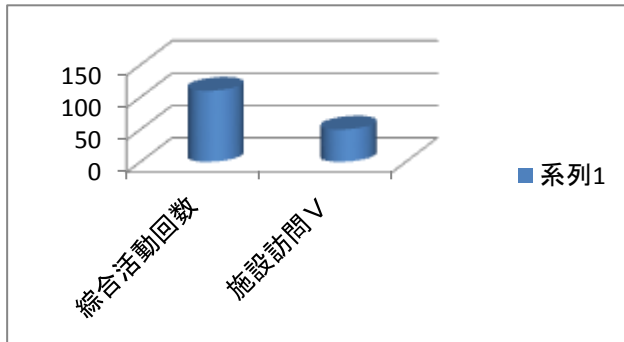
取材の活動の中には、ボランティアスキルを学習し、その技術を基に新しいボランティアグループを立ち上げた例がある。やはり60回の取材の中では少数例だが、この新しいボランティア団体立ち上げの動向は看過できない。笑顔のボランティア講習会、歌体操養成講座、ネイチャーリーダー養成講座、手話養成講座、表現クラブうどいなどの活動が該当する。ボランティアの高齢化で、その活動を縮小したり、あるいは解散せざるを得ない現状が浮き彫りされる中で、ボランティア新生への芽を育成するボランティア活動があることを、この60回の取材から読み取れるのは、将来の大阪狭山市のボランティア地図にとっても心強いことである。

## C 高齢者慰問などの分野

### C-1 施設慰問訪問

総合 取材60回+未取材50回=実際福祉活動110回

総合活動回 110  
施設訪問V 50



B-2及びC-1で掲題の活動に加えて、福祉分野のボランティア活動については、社会福祉協議会傘下のボランティアグループ連絡会が、定期的に年12回の老人施設慰問を組んでおり、これに加え、くみのき苑や、花舞の郷、ワークくみのきなどの施設から、催事の手伝いや、ゲーム、喫茶の応援、折り紙などの指導の要請に応じている活動を加味すると、この3年間では50回以上の活動をしており、推定ながら、この分野でのボランティア活動は群を抜いている事実もある。 向後加速する高齢社会に鑑みこの福祉系ボランティアの担い手は重要な位置をしめることになる。 約50%の施設訪問件数を示しているのが左図である。

## D 団体活動取材から垣間見るボランティア活動の省長

### D-1

第36回目の取材先は、地区福祉委員会による恒例の「ふれあい広場」。ボランティアの主役は、車いす・アイマスク体験の「ゆずり葉」だった。31年前に創立された市内でも最古参の団体である。しかしメンバーが高齢化して、車いすを押すことも困難となった現在、ゆずり葉は、ボランティア現場から離脱することになっている。2013年1月に、市民活動支援センター主催によるまちづくりに貢献した市内5団体が顕彰を受けたことは記憶に新しい。そのなかで、8年前に設立された、「プルトップを集めて車いすを贈ろう・・・」の活動は、既に車いす15号を市内各福祉施設や学校、自治会館に寄贈し、毎月のプルトップ収集成果を「プルトップ通信」で発表している。あと2号でこの5月にも第100号の発刊に到達する市内きってのボランティア活動団体である。しかしながら忍び寄りボランティア高齢化の波がこの団体にも押し寄せてきており、集まったプルトップの仕分け・選別作業のボランティア不足に直面している。このようにボランティアの担い手の高齢化で、グループ活動の運営に支障をきたし、その主たる活動が危機に曝されているグループが、そろそろ他にも顕在化している事実を認識しておく必要がある。

## E 有償ボランティアと無償ボランティアの狭間

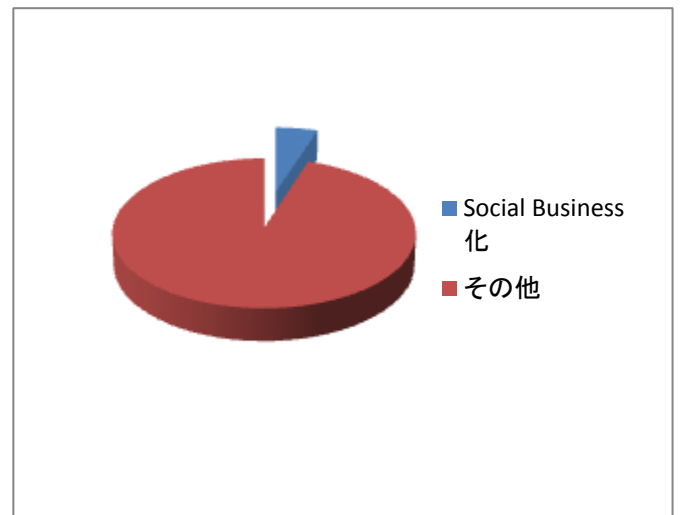
### E-1 ボランティアのSocial Business化

総合

Social Business化

その他

3%を示す非常に少ないながら、我々60回の取材のなか、ボランティアがSocial Business(CB)的な存在を表している団体に遭遇した。それが第13回目のワーカーズフロムさやま、その他寺子屋カフェ、Wcreche等がそれに該当する。

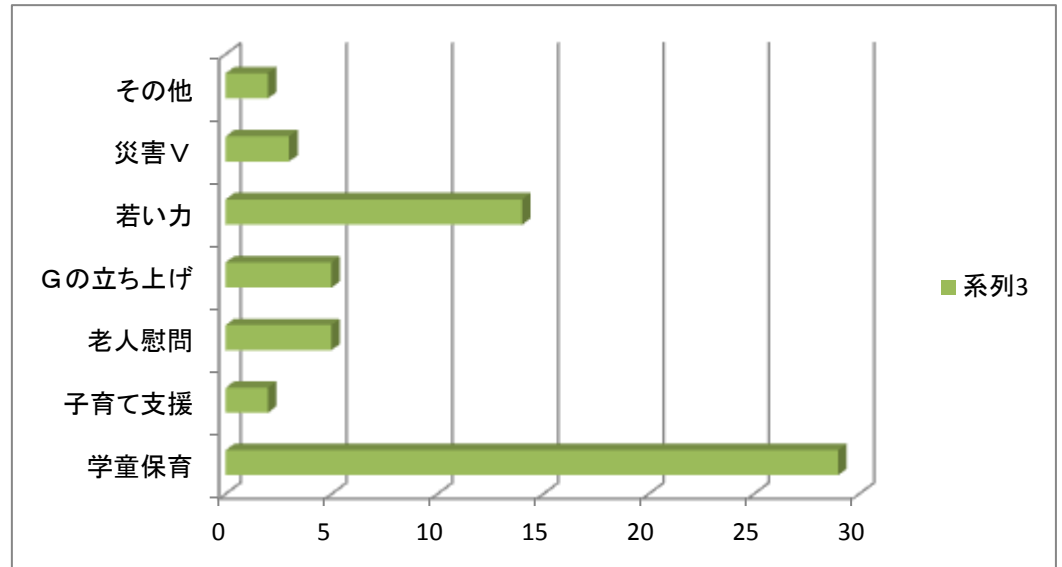


これら団体の特徴は、何等かの補助金を活用しながら、介護や子育て、児童保育に活動の場を広げている団体である。

教育委員会が推進する「元気っこさやま」でも、金額の大小は別にして、有償ボランティアが対象であることに違いない。ボランティア地図の将来像を描くとき、今後無償ボランティアと、有償ボランティアの境目のオーバーラップが、益々加速し、さらに誰がボランティア保険付保の主体性を担うかなどの有償性が増幅する可能性は否定できない。ボランティアの有償と無償の狭間が今まさに進行中なのである。

## こんなボランティアが…

### ボランティア活動の大別



### F ボランティアの大別とその特徴

F-1 今回60回の取材を通じたボランティアの大別は、福祉ボランティア、子育て支援ボランティア、障がい者ボランティア、国際ボランティア、災害ボランティアなどを取材のターゲットとしたが、災害ボランティアは、2010年の3.11当時の第28回「がんばれ…震災東北」の一件のみであり、国際ボランティアに関しては皆無であった。

災害ボランティア関連では、社会福祉協議会が推進する「災害ボランティアネット」が、市内各有力団体を統合する方向で進発の著につき一年が経過したが、いまだその具体的活動の姿を現していない。

また、国際ボランティアは、都市間交流協会が主催する、各国料理を楽しむ会か、本市と姉妹都市オンタリオ市への派遣学生の往来があるだけで国際ボランティアとは言えない。

しかしながら、何度も言及した本市の急速な高齢化に伴い、介護の分野で外国の介護士がいずれは重用される時代の到来も目前である。

そのような場合、特に医療の分野での言語的な国際ボランティアが必要となり、ボランティアの将来像として、タガログ、中国(北京・広東語)スペイン語、ベトナム・タイ語などの語学ボランティアや、日本語教育のボランティアなどの需要が顕在化する可能性も事実である。現在主流をなす福祉系ボランティア、子育て系ボランティア、障がい者ボランティアに加えて、災害ボランティアや国際ボランティアの必要性への取り組みむ指針を見据えてもいいのではなかろうか…

### G 今後への視点

「8%、25%、56%」この数字は、2013年3月31日当日TVで報道された、小学、中学、高校生のスマートフォン利用率である。この利用率の真偽はべつにして、今後も急速にITの利用度が高まることに違いはない。事実、第59回取材の「元気っこ狭山」の取材で知ったことは、放課後児童見守りボランティアに、高校生が多数登場しており、その組織に生徒自身が携帯・スマートフォンで現場組織を行い、それを電波でCoordinatorに伝え当日のボランティア編成を組む迅速性である。この方式は災害時におけるボランティア組織の小型版としても注目に値するものである。今回の60回の取材では、市内の同好会的ボランティアの取材は、第21回の邦楽コンサート実行委員会に留まったが、まだ市内に数多く存在する未接触の団体への取材により、この市内ボランティア図絵が、市民協働図絵としても幅広く塗り替え継続されることを期待したい。

2013/3/31









